

11月23日(金)24日(土)25日(日)

MERIDA X BASE CUP スポーツニッポン杯争奪戦

FI

福田がホーム戦でV狙う!

11月23日から開催されるKEE I R Nフェスティバルは通常と異なる全7レースS級戦。9車立て、3日制で行われる。このシリーズはナイターではなく日中となるので注意が必要。

シリーズの優勝候補として期待したいのは福田知也(神奈川88期)だ。鋭い決め脚が持ち味だが、目標不在でも自力を打てる点も魅力。8月の当地G3で優出果たした佐々木龍(神奈川109期)はまだまだ力不足は否めないが偉大な父・龍也(57期引退)譲りの競走センスで上位相手に健闘している。池田勇人(埼玉90期)も上昇気配。自力基本の戦いとなるが、S級に慣れて頭角を現し始めている吉田昌司(茨城107期)が勝ち上がったれば連係可能で一気に東勢の層は厚くなる。北日本勢は機動型の阿部拓真(宮城107期)を筆頭に差し鋭い大森慶(北海道88期)らが揃い戦力が整う。近畿の実力者藤木裕(京都89期)は今期2班の格付けながらV級の實力。不調が長引いている伊藤裕貴(三重100期)も高い潜在能力を持つ大型先行。中四国地区ははや手薄な布陣もパワー先行が魅力の竹内翼(広島109期)の活躍次第で浮上の目も。松川高大(熊本94期)と坂本健太郎(福岡86期)の九州コンビは得意のまくりで本線を破る力は十分だ。

S級主力選手
福田 知也
神奈川・88期



今シリーズは地元元の福田知也を中心に推す。今期はS級2班の格付けではあるが、各地で勝ち星を重ねて今年には既に23勝。F1での優勝も1度達成している。要所で自力も出しており充実の近況だ。迎える地元戦に「最近地元戦でもあまり緊張しなくなってきたし、いまの状態を維持していけば大丈夫だと思えますよ」と語る。一時は長いスランプも経験して、昨年にはA級に陥落した。それでもしっかりと練習を重ねて昨年末にはレインボーカップでS級にカムバック。今では上位相手でも十分に戦える状態にまで戻した。目標があればきっちり番手仕事もこなすし、南関東勢の機動型はやや手薄な今シリーズは、自ら自在に戦う場面も出る可能性もありそう。目り尽くした地元バンクで今年2度目の優勝をもぎ取るか?

かつてはG1決勝の舞台も経験している池田勇人が徐々に復調してきている。もちろんパワーな自力が持ち味だが、最近では強気に位置を要求する組み立ても増えてきた。緩やかにだが着実に状態を上げていく池田は、脚力的にも良くなってきた。緩やかにだが着実に状態を上げていく池田は、脚力的にも良くなってきた。緩やかにだが着実に状態を上げていく池田は、脚力的にも良くなってきた。



池田 勇人
埼玉・90期

大勢力の近畿勢のなかで中心として戦っていた藤木裕だが近年は上位に戦いで苦戦が続いていた。しかし、今年に入ってから上昇の途。5月取手のF1で久しぶりの優勝。そして9月の地元元町町記念では捲り2発で難なく2次予選まで通過すると、準決勝は攻める走りでも捲る清水裕友(山口105期)の2着に逃げ粘った。決勝は地元元の先導役を買って出た三谷竜生(奈良101期)の逃げに乗った山田久徳(京都93期)の番手まくりを阻止した藤木がVゴール。4番手を固めた村上博幸(京都86期)との嬉しワウツワウツ。暖かい地元の声援に涙した藤木は勝利者インタビューで「G1戦線の復活を地元ファンに誓った。その後こまごまの教場所はやや流れの悪さはあるようだが、現在S2の藤木だが上位戦で近畿勢の中核に返り咲く日はそう遠く無さそうだ。



藤木 裕
京都・89期



URBAN BANK かわさきケイリン

注	▲	○				×	◎	予想氏	名
大森	藤木	池田	佐々木	笠松	竹内	松川	阿部	福田	阿部
慶一	裕	勇人	龍	信幸	翼	高大	拓真	知也	拓真
	京都	埼玉	神奈川	愛知	広島	熊本	宮城	神奈川	宮城
88	89	90	109	84	109	94	107	88	88
S1	S2	S1	S2	S1	S2	S1	S1	S2	S2
0回	15回	5回	4回	2回	9回	2回	1回	11回	1回
6回	2回	2回	4回	3回	3回	2回	1回	8回	2着
7回	3回	3回	0回	2回	1回	3回	3回	4回	3着
13回	7回	19回	14回	22回	13回	21回	9回	11回	着外
0回	0回	0回	3回	0回	0回	0回	1回	0回	棄権
0回	1回	1回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	失格
26回	28回	30回	25回	29回	26回	28回	15回	34回	出走回数
0.00%	53.50%	16.60%	16.00%	6.80%	34.60%	7.10%	6.60%	32.30%	勝率
23.00%	60.70%	23.30%	32.00%	17.20%	46.10%	14.20%	13.30%	55.80%	連対率
50.00%	71.40%	33.30%	32.00%	24.10%	50.00%	25.00%	33.30%	67.60%	3連対率
0回	4回	7回	7回	0回	11回	4回	2回	0回	H数
0回	6回	5回	4回	0回	13回	3回	1回	2回	B数
108.15	107.62	107.10	102.63	105.31	102.92	104.96	107.42	107.11	競走得点

決勝想定メンバー

年末に2度目のヤングGPに挑戦する竹内翼に注目したい。2016年7月に109期としてデビューすると、すぐさま8月に1、2班へ特昇班。同年12月にはS級特進を決めた。そして翌年の年末には1度目のヤングGPに出場。単騎での戦いを挑んだ竹内は、ホームで後方から仕掛けるも中団迎りまで不発。大きな見せ場も無く9着の大敗。昨年の雪辱を晴らすべく、年末の大一番までに調子上げたという。更にはS級初優勝(企画レースを除く)も目指したいところ。この後は輪界入りする前にプロダクションとして在籍していたラジャアノ岡山がある岡山県の玉野F1、本人も準地元と語る岡山の地元の競走。そして次には地元ホームの広島G3、地元元町の防府F1を挟んで静岡ヤングGPに乗り込む。中四国で手薄な今期ではあるが、パワー先行で結果を出して年末に向けての弾みをつける。



阿部 拓真
宮城・107期



竹内 翼
広島・109期